

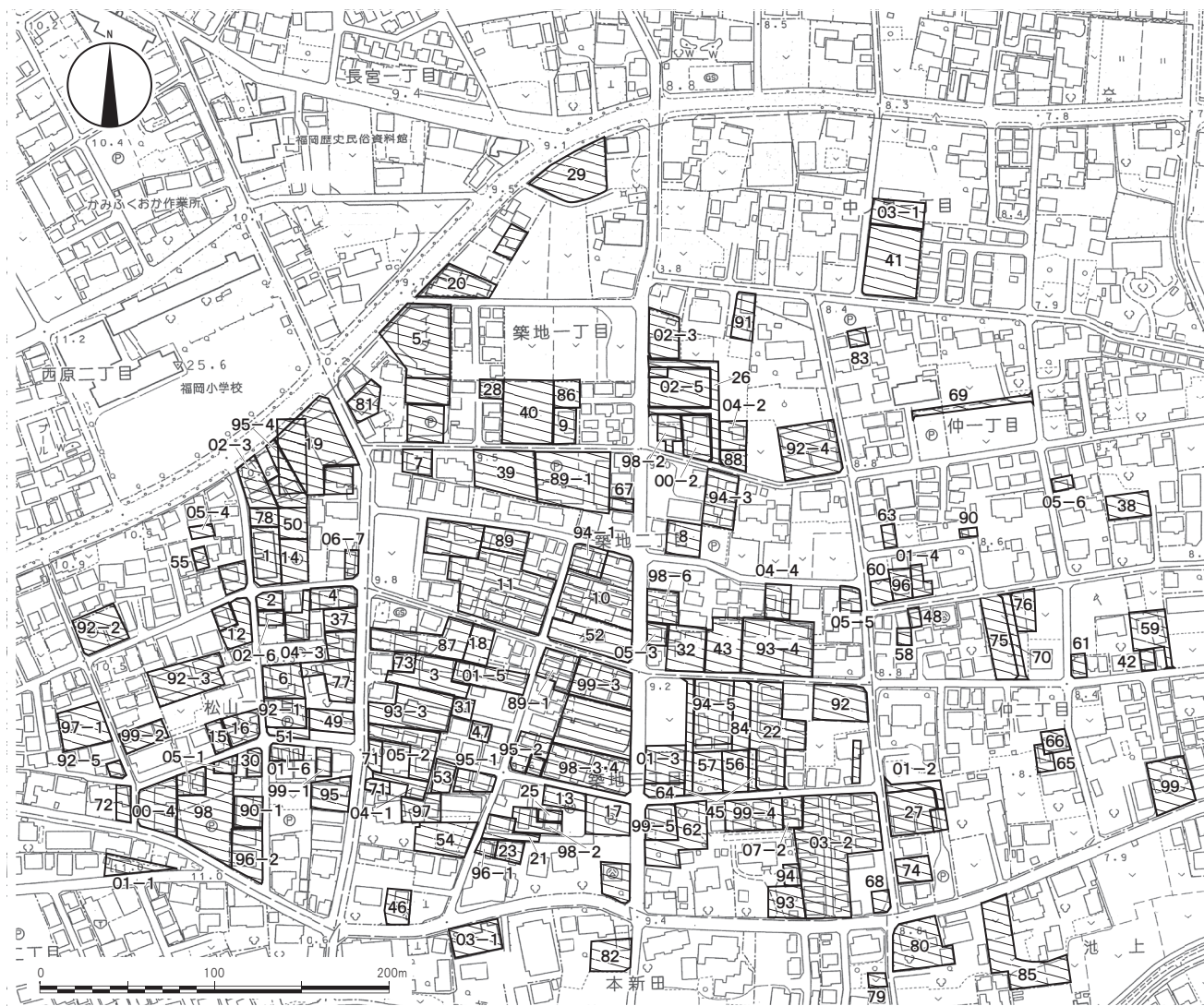
第3章 松山遺跡第99地点の調査

I 遺跡の立地と環境

松山遺跡は、亀居遺跡の南西側を水源とする福岡江川の左岸に位置し、緩やかな武蔵野段丘（M3面）に立地する。江川の水源は出頭と呼ばれ豊富な地下水が湧出した。背後、とりわけ水源西側の平地林の開拓が進むにつれて水流は細くなり、特に三芳町上富の多福寺の山林大伐採があってからは江川の水量が大きく減退した。江戸時代後半には川幅15間というから27mを擁し、新河岸川の合流点から駒林まで舟運で肥料や荷物を運んだ。江川までの距離は南へ約200m。標高10～11mの範囲にあり、周辺は平坦な地であるが、遺跡から東の地形は緩やかに傾斜し、500mはなれた地点で標高7mの水田面に移行する。遺跡の主体時期は奈良時代から平安時代を経て主に平安時代に営まれた集落跡である。周辺の遺跡は、すぐ北側に縄文時代

早期～後期、飛鳥時代および中近世にわたる長宮遺跡がひろがり、西方350m前後に比高差約9mの段差をもつ武蔵野台地の南東崖面には、松山・長宮遺跡に居住した人々が造営したと推察される富士見台横穴墓群が望まれる。南東に位置する仲三丁目の水天宮の南側には赤沼と呼ばれた湧水池が存在した。1965年頃には枯渇したというが、農業用水として貴重な水源であったという。

1978年の宅地造成に伴う緊急調査で奈良時代の住居が確認されたのを皮切りに本地点で99ヶ所目の調査が行われている。遺跡の範囲は東西240m、南北210m程度のひろがりをもつと考えられ、主たる時代と遺構は長宮遺跡と接した北よりに飛鳥時代の住居跡が、中央部に奈良～平安時代の住居跡・掘立柱建物跡・井戸跡、中近世以降の溝・井戸跡などが確認されている。



第16図 松山遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第11表 松山遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1次	松山2-5-4	1978.10.14～11.6	479		住居跡2	埋(Ⅰ)
2次	松山2-6-7	1979.4.26～5.1	161		住居跡1、土師器	埋(Ⅱ)
3次	築地3-1-20	1979.8.7～16	733		住居跡1、土器	埋(Ⅱ)
4次	松山2-6-9	1982.9.13～24	277		遺構なし、平安土器	埋(V)
5次	築地1-1-16	1983.4.20～28	1,461	住宅建設	なし	埋(VI)
6次	松山2-6-16	1984.8.13～28	330	住宅建設	溝1、土坑5	埋(VII)
7次	築地2-3-19	1986.1.13～21	237	個人住宅	溝1	埋(VIII)
8次	築地2-4-12	1986.7.1～8	319	個人資材置場	平安土器散布地	埋(IX)
9次	築地1-1-50	1987.10.1～3	288	個人住宅	なし	埋(X)
88試	築地3-3-4	(1989.1.9～10)	370	住宅建設	なし	埋(11)
89試	築地2-3-11	(1989.6.27～30)	1,342	共同住宅	なし	埋(12)
90試	松山2-2-9	(1990.9.7～12)	304	個人住宅	なし	埋(13)
10次	築地2-2-6	1991.10.14～18	450	個人住宅	平安住居跡(国分期)2、溝1	埋(14)
11次	築地2-1-10	1991.10.18～21	2,029	宅地造成	平安住居跡(国分期)1、溝1、土坑2、井戸状遺構1	埋(14)
92試(1)	松山2-6-22、23	(1992.4.17～24)	567	駐車場	なし	埋(15)
92試(2)	松山2-4-7	(1992.5.6～11)	571	駐車場	なし	埋(15)
12次	松山2-3-11	1992.5.12～20	393	宅地造成	平安井戸跡1	埋(15)
13次	築地3-2-18	1992.5.18～30	234	宅地造成	平安住居跡1	埋(15)
14次	松山2-5-17	(1992.5.21～30)	432	宅地造成	中世井戸跡2	埋(15)
92試(3)	松山2-3-31、13	(1992.6.12～18)	871.9	宅地造成	なし	埋(15)
92試(4)	築地1-3-17	(1992.6.3～11)	998	共同住宅	溝遺構、井戸状遺構	埋(15)
92試(5)	松山1-4-32	(1992.10.30)	78.4	共同住宅	なし	埋(15)
93試(1)	松山2-3-1	(1993.4.5～16)	509.19	宅地造成	なし	埋(16)
15次	松山2-3-41	1993.4.19～28	148	個人住宅	平安住居跡1	埋(16)
17次	築地3-2-19	1993.5.10～24	597	駐車場	古墳末期住居跡1	埋(16)
16次	松山2-3-43、44	1993.7.2～15	156.76	個人住宅	平安住居跡1	埋(16)
93試(3)	築地1-1-17、31	(1993.10.15～20)	994.22	共同住宅	なし	埋(16)
93試(4)	築地2-5-2の一部	(1993.10.22～26)	1,246.63	共同住宅	なし	埋(16)
18次	築地3-1-16	1993.12.1～7	290	駐車場	奈良末～平安住居跡1	5年教要
19次	松山2-5-9	1994.1.17～2.3	1,531.38	貸店舗	平安住居跡2、溝跡1	上遺調3集 松山遺跡第 19次調査概報
94試(1)	築地2-2-3	(1994.5.30)	310.48	分譲住宅	なし	埋(17)
20次	築地1-2-4	1994.6.24～7.1	559.17	共同住宅	古墳末期竪穴住居跡1、土師器、須恵器破片	埋(17)、 上遺調5集
94試(3)	築地2-4-7	(1994.8.3～12)	532.36	宅地造成	なし	埋(17)
95試(1)	築地3-1-9、10	(1995.5.10～19)	303	宅地造成	なし	埋(18)
95試(2)	築地3-3-2	(1995.5.22～6.15)	542	宅地造成	古墳末期住居跡1	埋(18)
95試(3)	築地3-2-23	(1995.10.17～20)	153.25	個人住宅	なし	埋(18)
21次	築地2-2-23	1995.10.17～20	378.53	市道敷設	古墳末期住居跡1	埋(18)
95試(4)	松山2-5-8、16	(1995.12.22)	413	宅地造成	なし	埋(18)
96試(2)	松山2-2-1	(1996.7.22～24)	489	宅地造成	溝1(時期不明)	埋(19)
97試(1)	松山1-4-17	(1997.9.11～18)	591	個人住宅	なし	埋(20)
22次	築地4-4-15、23	1997.12.15～24	419	個人住宅	平安初頭住居跡1、奈良末期掘立柱建物3、縄文集石土坑7、土師器、須恵器、縄文土器、墨書土器1	埋(20)
98試(1)	築地3-2-13、24	(1998.4.6)	240	宅地造成	23次調査参照	埋(21)
98試(2)	築地3-2-23外2筆	(1998.4.17、5.20～22)	450	宅地造成	なし	埋(21)
98試 (3,4)	築地3-3-1	(1998.4.20～5.20)	922	宅地造成	中近世溝1他	埋(21)
23次	築地3-2-24の一部	1998.5.11～14	120	個人住宅	奈良後半住居跡1	埋(21)
98試(5)	築地1-3-18	(1998.7.1)	167.06	個人住宅	なし	埋(21)
24次	築地3-2-4の一部	1998.9.8～21	50	農地改良	飛鳥住居跡1	埋(21)
98試(6)	築地2-5-6	(1998.9.1～4)	363	個人住宅	なし	埋(21)
25次	築地3-2-23外2筆	1999.3.3～12	240	個人住宅	奈良初頭住居跡2	埋(21)
99試(1)	松山2-1-10	(1999.4.16)	166	個人住宅	なし	埋(22)
99試(2)	松山2-3-3	(1999.5.6～12)	340		溝1(時期不明)	埋(22)
99試(3)	築地3-3-14、15	(1999.6.22～24)	778.29	宅地造成 (分譲)	なし	埋(22)
99試(4)	築地3-5-15の一部、24、27	(1999.8.2～6)	745.58		ビット5	埋(22)
99試(5)	築地3-5-28	(1999.8.26～9.1)	331.3	個人住宅	溝1(時期不明)	埋(22)
26次	築地1-3-21	2000.5.15～6.2(2000.4.27～5.12)	627.9	市道設置	井戸2、竪穴住居跡1、土師器、須恵器、陶磁器片	埋(23)
00試(2)	築地1-3-5、25、27、35	(2000.5.17～25)	687.3	共同住宅	土坑1	埋(23)
27次	仲2-1-10の一部	2000.6.12～7.3 (2000.5.22～6.8)	912	共同住宅建設 及び市道設置	奈良竪穴住居跡1、土師器、須恵器、陶磁器片	埋(23)
00試(4)	松山2-2-5	(2000.10.30)	592	共同住宅	なし	埋(23)
28次	築地1-1-28	2001.2.8～21	165.6	個人住宅	奈良住居跡1	埋(23)
00試(5)	築地3-1-28	(2001.2.2～13)	614	宅地造成(分譲)	飛鳥～奈良住居跡1	埋(23)
00試(6)	松山2-1-8、17	(2001.3.21)	174.9		なし	埋(24)
01試(1)	新田2-450-1	(2001.4.12～13)	204.15	個人住宅	なし	埋(24)
01試(2)	仲2-1-10	(2001.5～18)	168	地区計画道路	近代以降溝3	埋(24)
01試(3)	築地3-4-10	(2001.5.10～15)	434.59	共同住宅	なし	埋(24)
01試(4)	仲1-1-2、3、14	(2001.9.12)	694.68	個人住宅	なし	埋(24)
02試(1)	築地1-2-8	(2002.5.20～23)	978	遺構所在確認	竪穴住居跡1	埋(25)
02試(2)	築地3-5-35、36	(2002.7.11)	248.09	宅地造成(分譲)	なし	埋(25)
29次	築地1-2-8の一部	2002.7.2～8.9	36	個人住宅	竪穴住居跡1	埋(25)
02試(3)	松山2-5-7	(2002.8.5)	358.57	宅地造成(分譲)	なし	埋(25)
02試(4)	築地1-3-28	(2002.8.20～21)	479	共同住宅	なし	埋(25)
02試(5)	築地1-3-22、25、30	(2002.8.22～28)	640.68	遺構所在確認	竪穴住居跡1【盛土保存】	埋(25)
02試(6)	松山2-6-5	(2002.9.9)	147	個人住宅	なし	埋(25)
03試(1)	本新田1-23	(2003.4.16～21)	1,080.48	共同住宅	なし	埋(26)
03試(2)	築地3-5-3他6筆	(2003.8.19～20)	2,578.02	宅地造成	飛鳥竪穴住居跡2【盛土保存】	埋(26)
30次	松山2-2-3	2003.10.3～10	142.47	個人住宅	奈良竪穴住居跡1【調査実施】	埋(26)
04試(1)	築地3-1-16、32	(2004.4.22～23)	976	宅地造成	なし	埋(27)
04試(2)	築地1-3-37	(2004.4.26)	165	個人住宅	なし	埋(27)
04試(3)	松山2-6-11	(2004.6.16)	309	宅地造成	なし	埋(27)
04試(4)	築地2-5-14、25、27	(2004.8.5)	280	個人住宅	なし	埋(27)
04試(5)	築地3-4-12	(2004.9.6～8)	911	宅地造成	溝1	埋(27)
05試(1)	松山2-2-4の一部	(2005.4.6～7)	313	土地分譲	遺構遺物なし	市内1
05試(2)	築地3-1-32、34、43	(2005.4.19～21)	549	土地分譲	遺構遺物なし	市内1
05試(3)	築地2-5-32	(2005.4.28)	132	個人住宅	遺構遺物なし	市内1
31次	築地3-1-69	2005.6.14～23(2005.6.9～13)	120	個人住宅	古墳時代住居跡1	市内1

地点	所在地	調査期間()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
05試(8)	築地2-5-3	(2005.8.30～9.13)	567	宅地造成	平安時代住居跡1	市内1
32次	築地2-5-3の一部	(2005.8.30～9.7)2005.9.8～13	132	個人住宅	平安時代住居跡2	市内1
05試(5)	築地2-5-36	(2005.10.31)	125	個人住宅	遺構遺物なし	市内1
05試(4)	松山2-4-23	(2005.10.20～21)	161	個人住宅	遺構遺物なし	市内1
05試(6)	仲1-4-26	(2005.11.14)	108	個人住宅	遺構遺物なし	市内1
05試(7)	松山2-5-21	(2006.2.28)	100	個人住宅	遺構遺物なし	市内2
37	松山2-6-10、13	(2006.4.13)	228	個人住宅	遺構遺物なし	市内3
38	仲1-4-3、9、12、13、24	(2006.5.29)	2,176	宅地造成	遺構遺物なし	市内3
39	築地2-3-10	(2007.1.10～20)	937	宅地造成	遺構遺物なし	市内3
40	築地1-1-5	(2007.2.2～8)2007.2.21～3.9	1,047	宅地造成	奈良時代住居跡1、中世遺構検出	市内3
41	中ノ島1-2-5	(2007.2.7～9)2007.2.21～3.5	1,281	宅地造成	中世遺構遺物検出	市内3
42	仲2-3-15	(2007.2.13)	108	個人住宅	遺構遺物なし	市内3
43	築地2-5-2	(2007.4.11～24)	668.13	分譲住宅	堀跡1、土坑1、旧石器ナイフ1点	市内4
44	築地2-3-10、14	(2008.6.9～11)	132	個人住宅	遺構遺物なし	市内6
45	築地3-4-7の一部外	(2008.9.4～30)2008.10.1～23	390	道路	奈良平安時代住居跡2、掘立柱建物跡2、竪穴状遺構1、時期不明の溝10、土坑、ビット	市内6
46	築地3-1-33、35の一部	(2009.2.17)	309	個人住宅	遺構遺物なし	市内6
47	築地3-1-52	(2009.5.11～12)	121	個人住宅	ビット	市内8
48	仲2-2-34	(2009.7.1)	67	個人住宅	遺構遺物なし	市内8
49	松山2-6-1、14、22の一部	(2009.10.17～22)2009.10.27～11.18	449	宅地造成	平安時代住居跡1(住居内鍛冶炉検出)、土坑1、溝1、ビット1	市内8
50	松山2-5-3、17	(2009.11.27～12.1)	797	分譲住宅	溝1、ビット7	市内8
51	松山2-6-22、23、28の一部	(2010.5.10～13)	360	分譲住宅	遺構遺物なし	市内10
52	築地2-2-1	(2010.8.26～9.3)	694	分譲住宅	溝1、落とし穴1、工事立会	市内10
53	築地3-1-11	(2010.9.10～21)	205	個人住宅	近代以降の溝3、アナグラ1、慎重工事	市内10
54	築地3-1-6、76～83	(2010.9.21～10.1)2010.10.4～11.5	539.51	宅地造成	奈良平安時代住居跡3確認、西側の住居は盛土保存、他2は本調査	市内9
55	松山2-4-24の一部	(2011.1.17)2011.1.18～31	226.37	個人住宅	奈良平安時代住居跡1、掘立柱建物跡1、本調査	市内10
56	築地3-4-7、8の一部	(2011.4.4～14)2011.4.11～15	482.53	共同住宅	奈良平安時代掘立柱建物跡2他、本調査(一部工事立会)	市内11
57	築地3-4-47	(2011.4.4～15)	241	分譲住宅	隣接する45地点から続くH34号住居跡と溝、遺物なし	市内14
58	仲2-2-31	(2011.6.6～8)2011.6.14	114.54	個人住宅	井戸1、溝1、ビット1、本調査	市内14
59	仲2-3-6、9	(2011.8.8～9)2011.8.10～11	559.7	個人住宅	土坑2、溝3、縄文土器、須恵器、本調査	市内14
60	仲1-1-15	(2012.3.26～27)	165.31	個人住宅	堀跡1、溝1、陶磁器、焙烙、工事立会	市内14
61	仲2-3-3	(2012.4.16～19)	113	個人住宅	溝1、土坑3、陶磁器	市内15
62	築地3-5-11、14、19	(2012.6.11～21)2012.7.23～8.1	842	分譲住宅	縄文時代住居跡1、奈良平安時代住居跡1、溝6、縄文土器、銭貨、他	市内12
63	仲1-1-55、56、57	(2012.6.5)	120	個人住宅	遺構遺物なし	市内15
64	築地3-4-9	(2012.6.7～15)	314	分譲住宅	溝4、近世の土坑、陶磁器	市内15
65	仲2-1-25、36	(2013.2.13～18) 2013.2.19～3.21	630	物置	奈良平安時代住居跡2、掘立柱建物跡3、土坑6、溝6、須恵器、旧石器	市内15
66	仲2-1-53、54		179	個人住宅		市内15
67	築地3-3-13	(2013.2.19)	91.97	個人住宅	遺構遺物なし	市内15
68	築地3-5-1	(2013.3.7～8)	166	個人住宅	井戸1、土坑1、ビット4、須恵器、土師器等	市内15
69	仲1-51、53、55	(2013.9.10～11)2013.9.12～17	298	道路	縄文時代集石土坑1、溝1	市内18
70	仲2-2-39、41	(2013.4.11～16)2013.4.17～23	220.41	道路	奈良平安時代住居跡1、中世以降井戸1、集石土坑1、溝2、須恵器、土師器、土鍾、陶磁器	市内18
71	築地3-1-16、32、34	(2013.4.30～5.1)	240	分譲住宅	ビット1、古銭、陶器片1	市内18
72	松山1-4-1	(2013.5.24)	198.86	個人住宅	遺構遺物なし	市内18
73	築地3-1-56	(2013.8.19)2013.8.20	165	個人住宅	平安時代住居跡1、須恵器	市内18
74	仲2-1-37	(2013.12.24～26)	280.24	分譲住宅	井戸1、集石土坑1、溝2、土坑1、陶磁器	市内18
75	仲2-2-2、4	(2014.1.14～20)2014.8.5～11	606	分譲住宅	平安時代住居跡1、溝3、須恵器、土師器	市内18
76	仲2-2-48	(2014.1.22～28)2014.9.26～10.2	120	個人住宅	土坑1、井戸1、溝1、土器	市内18
	仲2-2-37(6区画)	(2014.1.22～28)2014.11.12～17	120	個人住宅	奈良時代住居跡1(70地点と同一)、土師器	市内18
	仲2-2-37	(2014.1.22～28)	362	宅地造成	奈良時代住居跡1(70地点と同一)、井戸2、溝2、土坑3、土師器、須恵器、中世陶器	市内18
77	松山2-6-2、3、12の各一部	(2014.3.3～12)2014.3.13～27	493	個人住宅	平安時代住居跡1、土坑3、土師器、須恵器	市内18
78	松山2-5-5	(2013.5.22)	242	個人住宅	遺構遺物なし	市内20
79	本新田395-1の一部	(2014.8.5)	153	個人住宅	遺構遺物なし	市内20
80	池上372	(2015.3.12)	1,183.4	個人住宅	遺構なし、土器、陶磁器	市内20
81	築地1-1-12	(2015.3.23)	247.49	分譲住宅	溝1、遺物なし	市内20
82	本新田411の一部	(2015.7.30～31)	194	個人住宅	溝1、堀1、土器片	市内22
83	仲1-2-22	(2015.8.31)	98	分譲住宅	溝1、土器片	市内22
84	築地3-4-13	(2015.9.15～16)	455	宅地造成	平安時代住居跡1、井戸1、縄文土器片、陶磁器	市内22
85	池上362-1の一部、364、365、366の一部	(2015.10.1～19)2015.10.20～26	1,244.47	分譲住宅	奈良平安時代住居跡2、屋外の焼土跡1、中近世以降の溝5、須恵器、土師器、陶磁器、鉄製品、石製品	市内19
86	築地1-1-4	(2016.7.5・7)	294	分譲住宅	溝1、陶磁器	未報告
87	築地3-1-21・22の一部、39、40、41、84	(2016.9.14)	427	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
88	築地1-3-36	(2016.10.13)	120	個人住宅	土坑1、ビット2、溝1、遺物なし	未報告
89	築地2-1-11、16	(2017.3.3～6)	287.04	分譲住宅	遺構遺物なし	未報告
90	仲1-1-37の一部	(2017.10.12)	120	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
91	築地1-3-8の一部	(2017.10.24)	416	個人住宅	溝(近世以降)5、陶磁器	未報告
92	築地3-4-3	(2017.10.31)	621	分譲住宅	土坑(時期不明)2、ビット(時期不明)1、縄文土器	未報告
93	築地3-5-72	(2017.11.27～28)	571.97	共同住宅	古代住居跡2、堀1、溝1、近世以降土坑2、土師器、須恵器、陶磁器	未報告
94	築地3-5-4	(2018.3.23)	57.12	作業場	古代住居跡1、時期不明ビット1、土師器、陶磁器	未報告
95	松山2-1-12	(2018.8.1～2・9.13)	353	分譲住宅	遺構遺物なし	未報告
96	仲1-1-34	(2018.8.20)	165.43	分譲住宅	溝1、陶磁器片、ガラス容器	未報告
97	築地3-1-5、7の各一部	(2018.10.30)	253	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
98	松山2-2-4	(2018.11.1)	1,291.34	店舗	遺構遺物なし	未報告
99	仲2-4-2	(2019.1.11～15)2019.1.21・22	673.35	分譲住宅	堀状遺構1、陶磁器、ガラス瓶	市内23

※ 埋：上福岡市教育委員会埋蔵文化財の調査報告書、上遺調：上福岡市遺跡調査会報告書、教要：上福岡市教育要覧、市内：ふじみ野市市内遺跡群報告書



ちなみに、古代の住居跡はこれまでに52軒が調査されてきている。

本報告する堀状遺構は遺跡南東側の低地に近い所である。

II 調査に至る経過と概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2018年12月4日付けで「埋蔵文化財包蔵地の開発事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南東部に位置する。原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2019年1月11日～15日まで試掘調査を実施した。幅約1.5～2mのトレンチ5本を設定し、重機による表土除去後人力による精査を行ったところ、堀状遺構1本を検出した。遺構確認面までの深さは40～60cmである。開発道路築造部分において遺跡への影響が避けられないため、原因者と再協議の結果、原因者負担による本調査を行った。

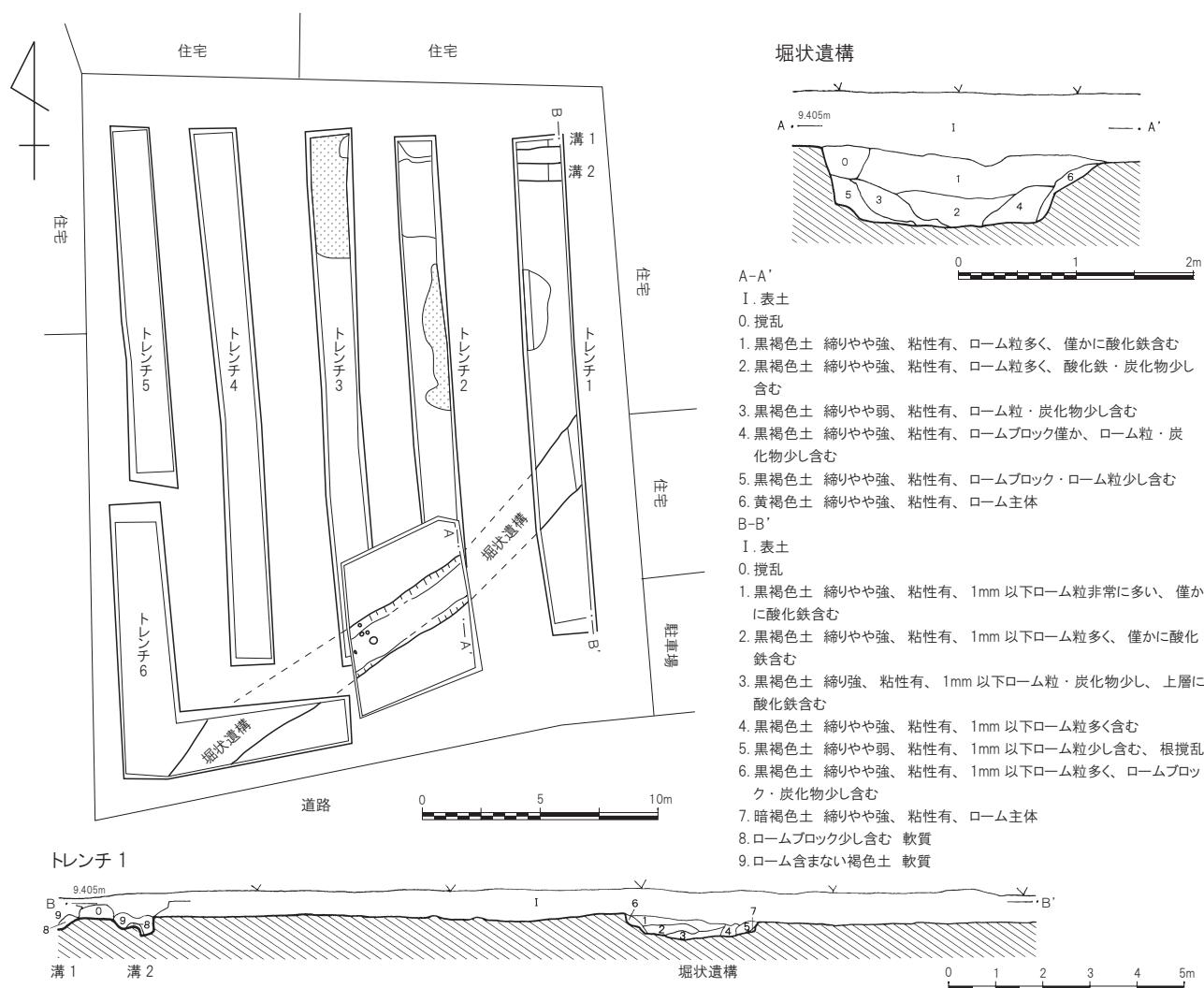
本調査は1月21日～22日に実施した。堀跡部分に調査区を設定し、重機による表土除去後人力で掘削を行った。調査の結果、堀状遺構1本とピット5基を検出した。

III 遺構と遺物

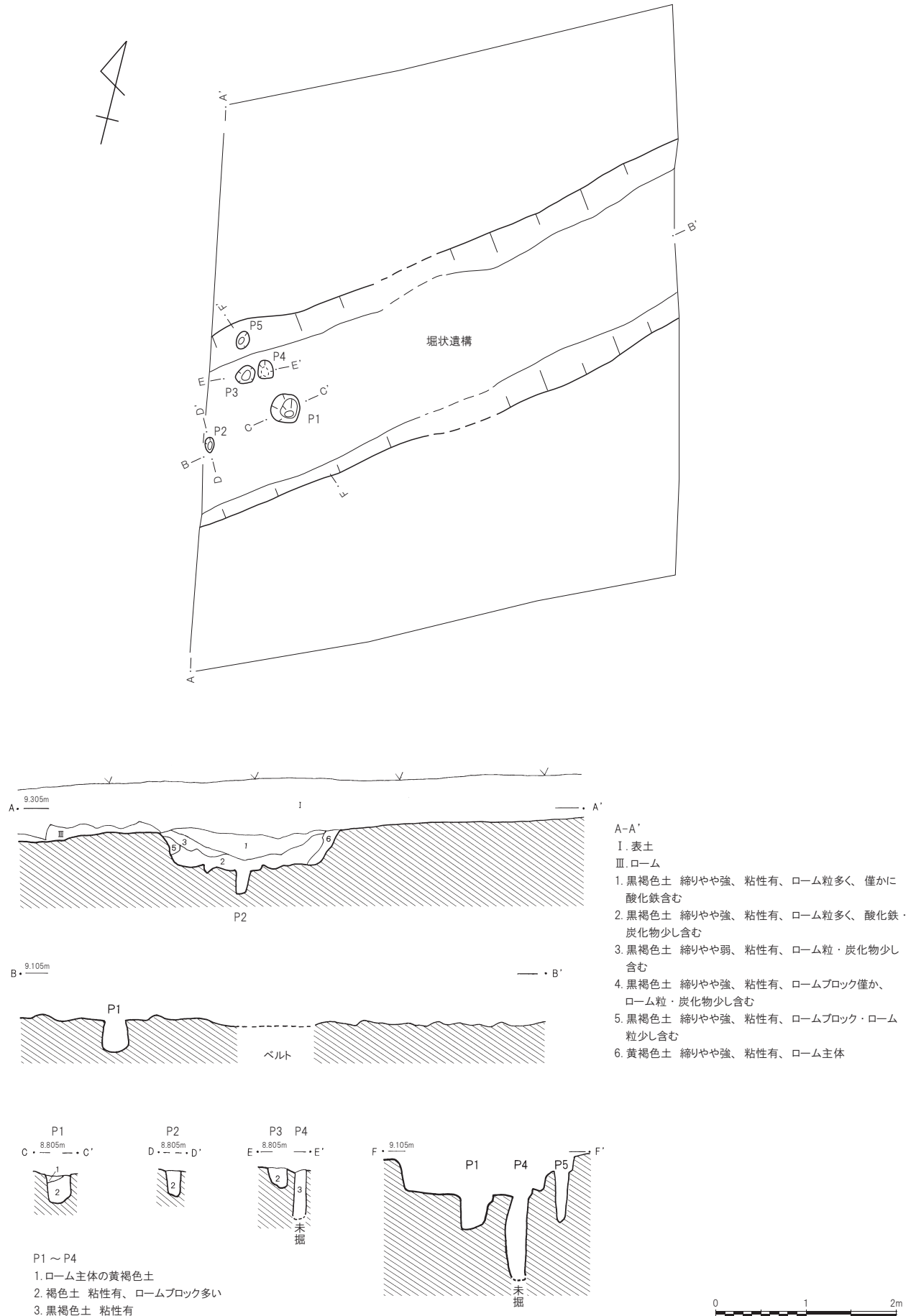
試掘調査と本調査で確認できた遺構は堀状遺構のみである。設定した最東トレンチ(トレンチ1)の北寄り側で、農業耕作関連のイモビツ的な掘り込みが確認できた程度で、遺構としては扱わない。他には現況建物の基礎部分と思われる攪乱や廃棄穴などが確認されたが、礫・ビニールを含む現代の攪乱が調査区北東部で目立った。

【堀状遺構】

規模から判断してここでは堀の名称を使用する。調査区の北東部から南西部にかけて、ほぼ直線に延びる幅2mの黒色落ち込みを21mにわたって確認した。方位はN-57°-Eを指す。このうち本調査区は私道部



第18図 松山遺跡第99地点遺構配置図(1/300)、土層(1/60・1/150)



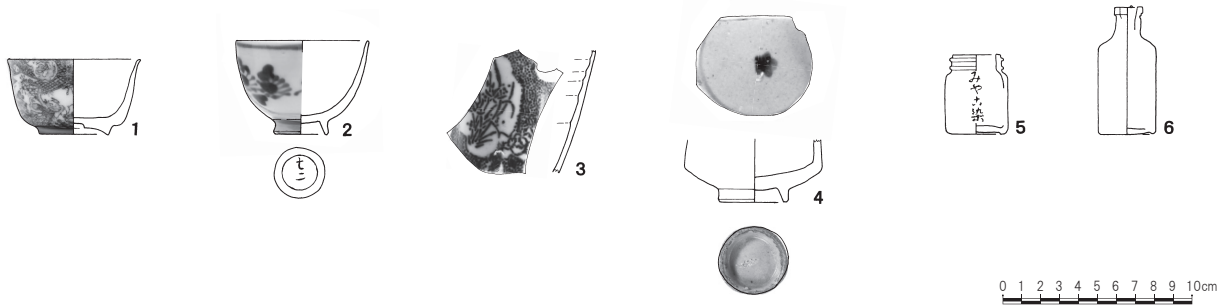
第 19 図 松山遺跡第 99 地点掘状遺構・ピット (1/60)

分にかかる長さ 6 m である。規模は上幅 175 ～ 190 cm、下幅 110 ～ 140 cm、確認面からの深さは最大で 62 cm。断面は逆台形状を呈する。底面は小起伏があり凹凸がはげしく、レヴェルは西から東に向かい若干下がる。覆土の全体色調は黒褐色を呈する。側壁からのロームの流れ込みは北側で多い。覆土の特徴として暗赤褐色の酸化鉄成分を含むことである。特に覆土の中央部に顕著に確認された。また、小ピットを調査区西側で集中して 5 基確認した。ピット内覆土は締まりなく粘性強い。滞水名残か。

第 12 表 松山遺跡第 99 地点堀状遺構内ピット一覧表
(単位 cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	隅丸方形	36×30	10×6	35	
2	楕円形	15×10	10×5	28	
3	隅丸方形	20×17	12×8	21	
4	隅丸方形	20×15	—	未掘	
5	隅丸方形	20×15	8×5	55	

※P4は未掘。100cmまで掘り上げたが下部は深すぎて底に到達できない。



第 20 図 松山遺跡第 99 地点出土遺物 (1/4)

第 13 表 松山遺跡第 99 地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

図版番号	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	重量	技法・文様他	備考
第 20 図 -1	3 トレンチ内	磁器・小坏	7.0	3.6	4.0	62.6	轆轤成形／銅版絵付／外面屋敷花鳥文、高台内無釉	
第 20 図 -2	3 トレンチ内	磁器・小坏	7.0	2.6	5.0	55.4	轆轤成形／染付／草花文／畳付無釉	底裏銘「七二」
第 20 図 -3	3 トレンチ内	磁器・爛徳利	—	—	—	13.8	轆轤成形／型紙絵付、内面無釉	瀬戸・美濃
第 20 図 -4	堀状遺構	磁器・碗	—	3.7	—	54.4	轆轤成形／染付／見込二重圈線・花卉文／畳付無釉	
第 20 図 -5	3 トレンチ内	ガラス製品・瓶 (染料)	2.7	3.0	4.2	31.0	型吹成形 (割型・前後合せ)／無色・透明、気泡有 ／「みや古染」陽刻胴部	完形：スクリュウキャップタイプ
第 20 図 -6	2 トレンチ内	ガラス製品・瓶・(薬瓶?)	1.6	3.0	6.7	33.2	型吹成形 (割型・前後合せ)／緑色・透明、気泡有	完形：コルク栓

【松山遺跡の堀状遺構について】

わずか6mの堀状遺構の調査をもってその用途を推定するのはきわめて困難を承知で、また土壌サンプリング分析の結果を待つ猶予がないため、現時点で99地点確認の堀状遺構の掘削目的と用途について考えてみる。

堀の主体をなす覆土内に満遍なく褐鉄層（酸化鉄層）が認められた。堀底にはある程度早い流水ならば砂が、滞水するような流水ならばシルト質や粘土質の覆土が確認され、通水と止水が繰り返されるならば酸化鉄層が確認される（2005 梶原勝）。酸化鉄層は通水と止水が繰り返されたことを物語るものか。

当該遺跡からは奈良平安期の住居確認数が52軒に達し、水稻栽培の用水確保で多くの溝を確認しているが、流滞水を確認できた溝（堀）について特記しておく。（第17図に発掘箇所を図示した）

1, 松山遺跡第10次調査（1991年度調査）

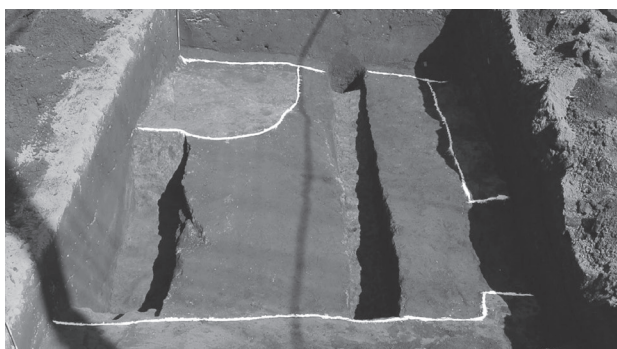
この調査の際に確認面の幅3m、深さ1.2mの溝1を確認している。報文によると壁面は底面よりほぼ垂直に30cmほど立ち上がり、やや開き気味にローム上面に至る。底面はおおむね水平で、全体の断面形は箱形である。底面直上には、粘性をもち灰色がかかった黒色土層があり、水が流れていたことが推察された。下の層より、鉄分を含んだローム粒子の層、U字状に鉄分を含み粘性をもった黒褐色土層、その内側に砂層があり、一時改修されたものと考えられる。その上は、ロームを含んだ黒褐色土層と表土である。『埋蔵文化財の調査（14）／1992年3月』

2. 第60地点（2012年3月調査）

堀跡は南北に延びほぼ直角に東に曲がる。断面は逆台形で、上幅232～240cm、下幅170cm、深さ98cmである。覆土層の観察では中世と見られる。遺物は覆土上層から近世の陶磁器が出土する。松山遺跡で確認された中世の堀跡と同類の遺構であろう。として、堀1の土層説明の中で5層に赤褐色酸化土やや多く含むとある。



松山遺跡第60地点堀跡



松山遺跡第60地点堀跡

溝1

I a. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm以下ロームブロック・粒、5cm以下ソフトロームブロック少し含む

I b. 黒褐色土 締り強、粘性有、5cm以下ロームブロック多く含む

Ⅲ. 地山

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒少し含む

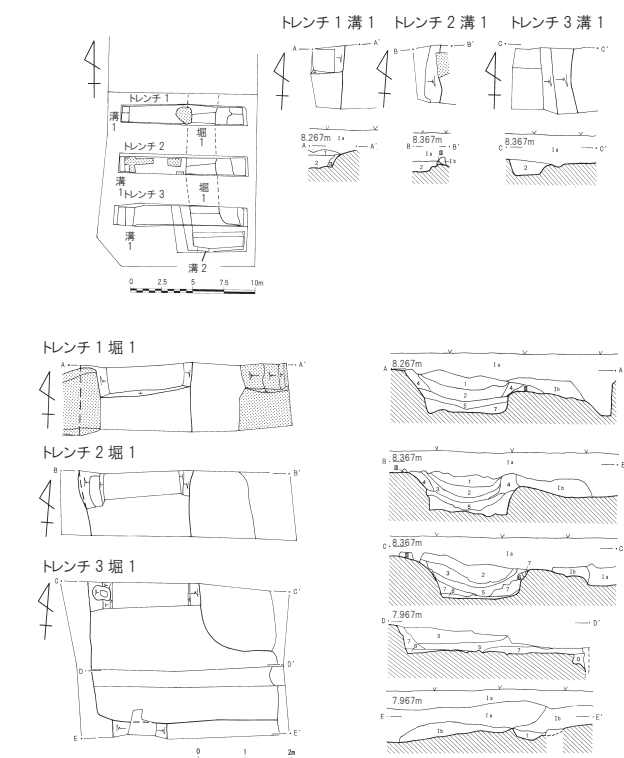
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒、5～15mm赤褐色の酸化土やや多く含む

3. 暗黄褐色土 締り強、粘性有、黒褐色土主体に2cm以下ロームブロック・粒を緻密に含む

堀1

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm以下ローム粒少し含む

2. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm以下ローム粒やや多く（3層より少ない）、間層状にローム土を下位に少し含む



3. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm以下ローム粒やや多く含む（2層よりローム粒多めで茶褐色味が有る）

4. 黒褐色土 締り強、粘性有、2cm以下ソフトロームブロック少し含む

5. 黒色土 締り強、粘性有、1cm以下ロームブロック・粒・赤褐色酸化土やや多く含む

6.5と7の中間的な色調、ローム粒シミ状にやや多い

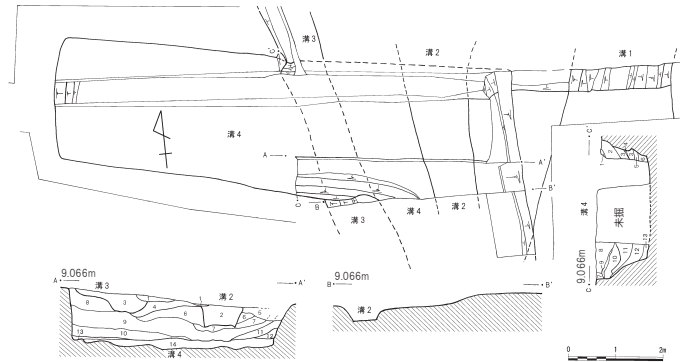
7. 黒褐色土＋黄褐色土 締り強、粘性有、黒褐色土主体に5cm以下ロームブロック、5mm以下ローム粒多く含む、

赤褐色・橙褐色の酸化土もやや多く含む

8. 黄褐色土 締り強、粘性有、黒褐色土ベース、3cm以下ハードロームブロック主体

3. 第 64 地点（2012 年 6 月調査）

溝



- I. 表土、耕作土 暗褐色土 締り弱
II. 耕作土 暗褐色土 締り弱、1 ～ 10mm ローム粒やや多く含む
1. 溝 2 暗褐色土（茶） 締り有、1 ～ 10mm 極多く、3cm 大ロームブロック少し含む
2. 溝 2 暗褐色土（茶） 締り有、1 ～ 10mm 多く、1 ～ 3cm 大ロームブロックやや多く含む
3. 暗褐色土（茶） 非常に硬く締る、1 ～ 5mm 極多く、表面はテラテラ光る、1 層とよく似る
4. 溝 3 暗褐色土（茶） 締り有、1 ～ 3mm ローム粒多く、下層は水成堆積の痕跡有り
4' . 4 層に 1 ～ 10mm ローム粒多量に加わる
5. 地下室 黒褐色土 締り有、硬い、1mm ローム粒少し、5mm 炭極少し含む
6. 地下室 黒褐色土（やや茶） 締り有、1 ～ 10mm 極多く含む
7. 地下室 褐色土 締り有、暗褐色土と 1 ～ 10mm ローム粒の混合土
8. 地下室 黒褐色土 締り有、黒褐色土と 1 ～ 10mm ローム粒の混合土、1 ～ 3cm 大ロームブロック多く含む
9. 地下室 褐色土 締り有、ローム主体、暗褐色土混入、壁の崩れたもの
10. 地下室 黒褐色土 締り有、黒褐色土と 1 ～ 10mm ローム粒と 1 ～ 5cm 大ロームブロックの混合土、10 層より色が黒い
11. 地下室 黒褐色土 締り有、1 ～ 3mm ローム粒少し含む
12. 暗褐色土 締り有、硬い、1 ～ 3mm ローム粒やや多く含む
13. 黄褐色土 締り有、1mm ローム粒・塊主体、暗褐色土混入
14. 黒褐色土 締り有、1 ～ 10mm ローム粒極多く、～ 3cm 大ローム塊多く含む
15. 黄褐色土 締り弱、ローム粒・塊主体
16. 黒褐色土 締りやや有、～ 3cm 大ローム塊少し含む
17. 黄褐色土 締りやや有、ローム塊主体、ローム粒混入
18. 黒褐色土 締りやや有、1 ～ 5mm ローム粒極多く、1 ～ 3cm 大ローム塊少し含む
19. 黄褐色土 締りやや有、ローム塊主体
20. 暗褐色土 締り弱、1 ～ 5mm ローム粒多く含む
21. 暗褐色土 締り有、1 ～ 10mm ローム粒極多く含む

第 51 表 松山遺跡第 64 地点溝一覧表（単位 cm）

No.	断面形態	上幅	下幅	深さ	備考
溝 1	V 字（薬研堀）	210 ～ 235	—	160	古代～中世
溝 2	凵字	110 ～ 150	—	88	近世～
溝 3	凵字	80 ～ 125	—	110	近世～
溝 4	V 字（箱薬堀）	250 ～ 310	—	104	中世

報文中にはふれられていないが、溝 2 の第 4 層と溝 4 の第 13 層の土説に水成堆積の痕跡、硬化有りとされている。

22. 暗褐色土 締り有、5mm 大ロームブロック極多く含む
23. 黒褐色土 締り有、1 ～ 3mm ローム粒少し含む
24. 暗褐色土 締り有、1 ～ 3mm ローム粒やや多く含む
25. 暗褐色土（24 層より暗） 締り有、1 ～ 3mm ローム粒多く含む
26. 褐色土 締り有、3cm 大ロームブロック少し、1 ～ 5mm ローム粒極多く含む
27. 黒褐色土 締り有、1 ～ 3mm ローム粒やや多く含む
28. 褐色土 締り有、1 ～ 5mm ローム粒極多く含む
29. 褐色土 締り有、1cm 大ロームブロック多く、1 ～ 5mm ローム粒多く含む
30. 黄褐色土 締り有、ローム粒主体、1cm 大ロームブロック多く含む
31. 黄褐色土 締り弱、ロームブロック主体
32. 黒褐色土とロームブロックの混合土 締り弱
溝 4
1. 暗褐色土 締り有、硬い、1 ～ 3mm ローム粒やや多く含む
2. 黄褐色土 締り有、1mm ローム粒・塊主体、暗褐色土混入、暗褐色土の割合が多い
3. 黄褐色土 締り有、1mm ローム粒・塊主体、暗褐色土混入、ロームの割合が多い
4. 黄褐色土 締り有、1mm ローム粒・塊主体、暗褐色土混入、黒色土主体
5. 黒褐色土 締り有、1 ～ 10mm ローム粒極多く、～ 3cm 大ローム塊多く含む
6. 黄褐色土 締りやや有、ローム塊主体、ローム粒混入
7. 褐色土 締り有、ソフトロームブロック多量に混入
8. 黒褐色土（やや茶） 締り有、3 ～ 10mm ローム粒極多く含む
9. 黄褐色ロームと黒褐色土の混合
10. 黒褐色土 締り有、3 ～ 10mm ローム粒多く含む
11. 黒褐色土 締り有、3 ～ 10mm ローム粒と～ 5cm 大ロームブロックの混合土
12. 黄褐色土 締り有、～ 3cm 大ロームブロック・粒主体
13. 暗褐色土 締り有、1 ～ 2cm 大ロームブロックとの混合土、ロームブロックは水成のため硬化している

第 94 図 松山遺跡第 64 地点溝（1/160）、土層（1/300）



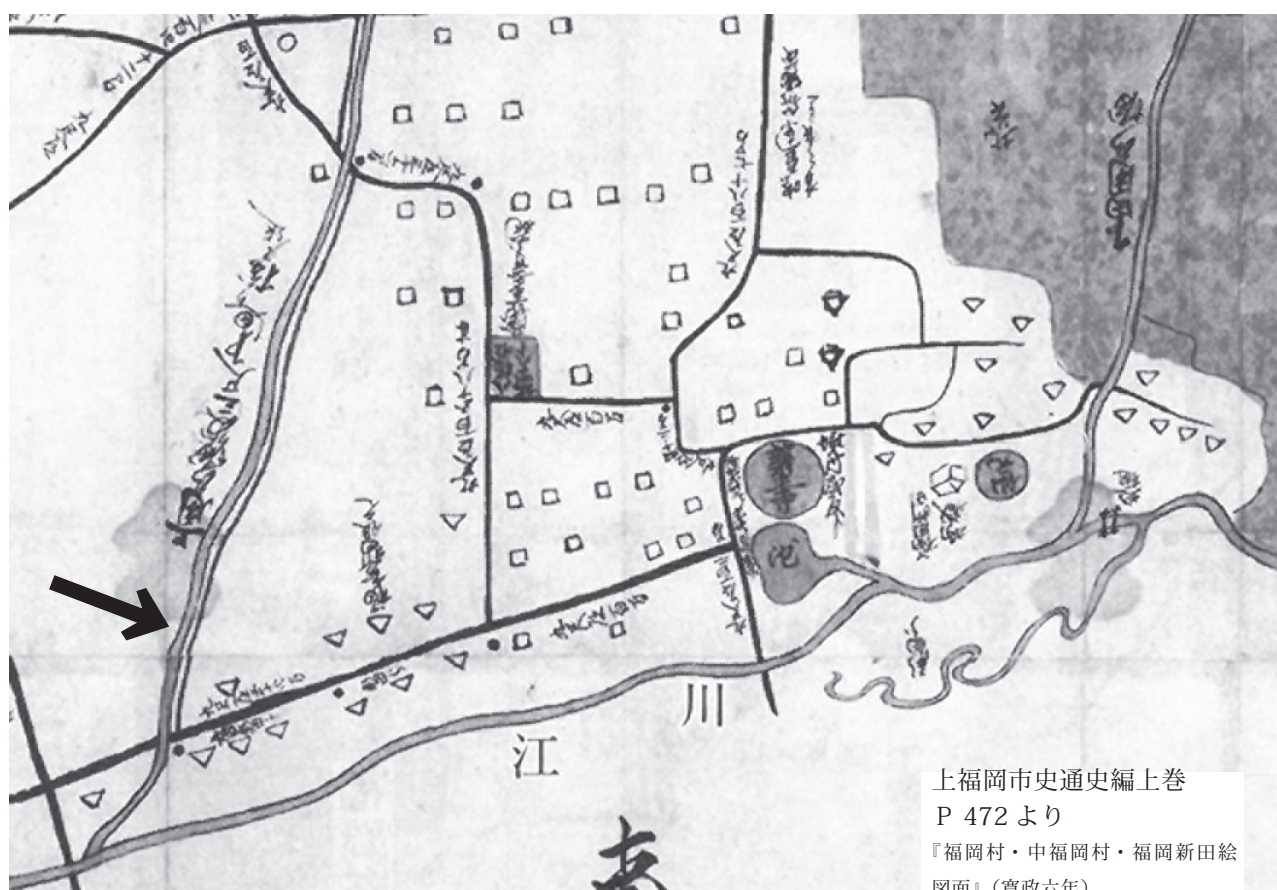
松山遺跡第 64 地点溝 2



松山遺跡第 64 地点溝 4

これらの溝が流滞水したとして、水を求めていたのは何処からか？用水に係る記録をここで引用する。地理的に江川および水天宮池からの引水は容易に想像つく。江川の水量については先述した。赤沼と呼ばれる水天宮池も古く江戸時代からの重要な水源地であった。

- ・『福岡村史』によると江戸期に池の水が枯れることがあったが、地下水が他へ逃げていることが判明したので厚い板を地下水路に並べて打ち込みこれを断ち切って池の方へ湧くように工事を行われたことが今に伝えられている。また、「江川を新田と駒林境でセキ止め畑の間を水路を北に通して中福岡をぬけて耕地に引き相当の用水を作っていた。用水は用が済めば江川のセキをはずすので逆流して渴水するがその逆流がもどってくるのでセキのあったところが落合と言う地名になって残っている」としている。
- ・『新編武蔵風土記稿』の福岡新田には「水田ハ少ク陸田ハ多シ本村薬王寺前ナル沼ヨリ出ル清水ヲモテ用水トナセトモヤヤモスレハ水損ノ患アリ此地元ハ芝野ナリシヲ（後略）」とある。
- ・『福岡村・中福岡村・福岡新田絵図面』（寛政六年）には江川から引いた用水堀が画かれ、「上用水堀三尺下通り拾戸迄」の文字が読める。
- ・松山遺跡は旧中福岡村に位置するが、「用水は、赤沼（薬師手洗いの池）からひいていた。」（上福岡市史通史編）



上福岡市史通史編上巻
P 472 より

『福岡村・中福岡村・福岡新田絵図面』（寛政六年）



昭和 35 年頃の赤沼

右端の池のほとりに厳島神社。この池は昭和 43 年頃埋め立てられ、現在は児童公園になっている。

以上の文献からも、松山遺跡内で確認される溝状遺構は用水に供されたものが存在すると推察がつく。99 地点で確認された堀状遺構が用水堀とする決定的な根拠を有さないが、堀の底面ではないが酸化鉄層が認められ、直線的に延びると江川に合流することから、江川から引いた用水堀とみることが妥当であろう。底面標高は東で 9.20 m、西で 9.24 m と江川寄りの方が若干高い。ローム層の底面は掘り方のように凸凹が目立つ。用水堀として使用されていた段階では酸化鉄層が確認される底面上 10 ～ 15 cm まで滞水し、堀の掘削時は掘り方にみられるような荒掘りで用水を通した可能性が考えられよう。今後も、引き続きいねいな調査と使用時期の検討を重ねていくより解明の途はない。

【引用・参考文献】

『上福岡市史通史編上巻』 P 472

梶原 勝 江川南遺跡及び亀久保堀跡遺跡の「堀」について『江川南遺跡Ⅱ 神明後遺跡Ⅰ』（2005 年大井町遺跡調査会報告第 16 集）

『市史調査報告書第 19 集「20 世紀を語る古写真」』2001 年

『福岡村史』



松山遺跡第 99 地点試掘調査風景



松山遺跡第 99 地点試掘調査風景



松山遺跡第 99 地点試掘調査風景



松山遺跡第 99 地点本調査風景



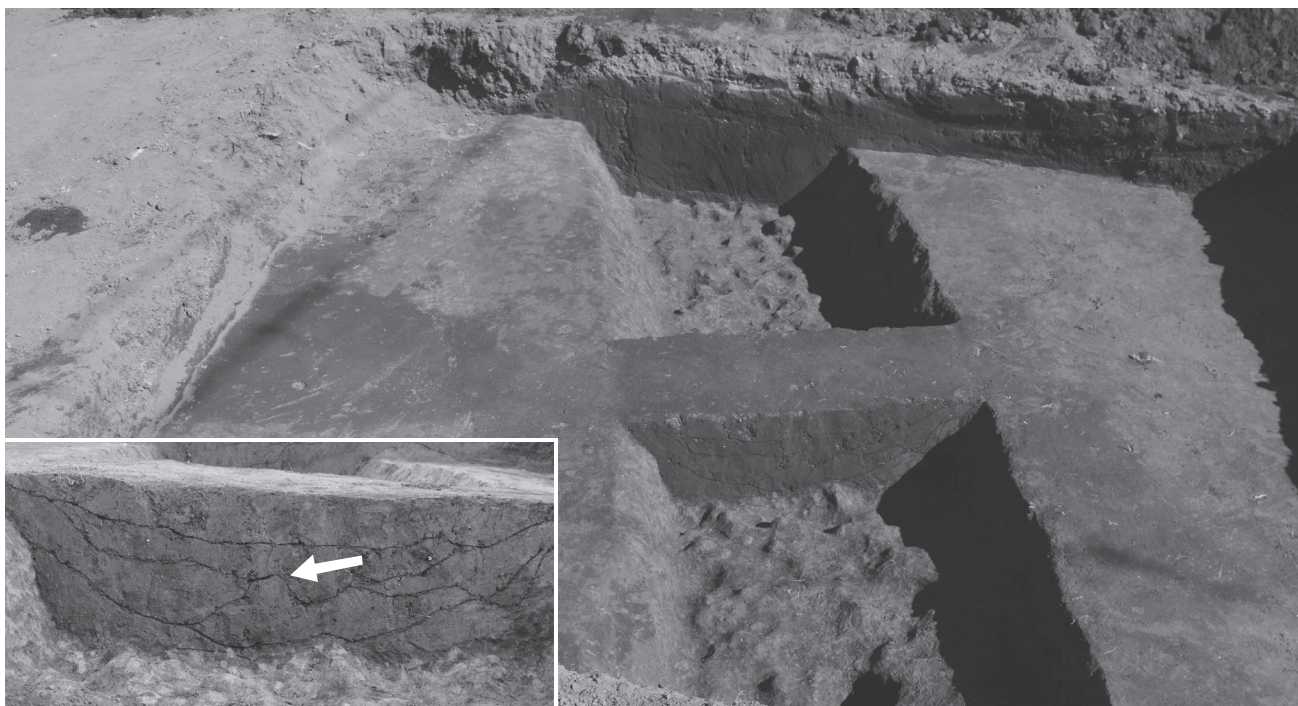
松山遺跡第 99 地点堀状遺構プラン確認



松山遺跡第 99 地点堀状遺構調査風景



松山遺跡第 99 地点堀状遺構調査風景

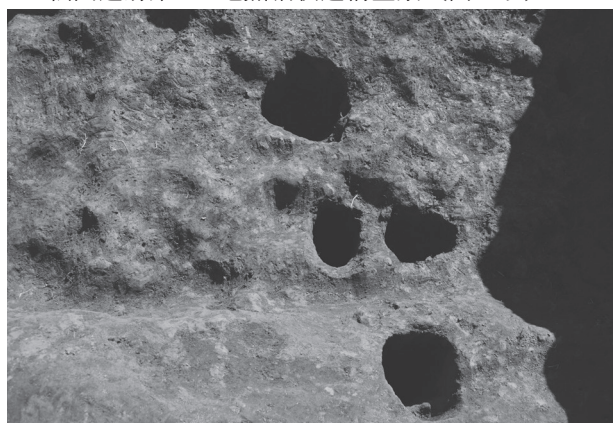


堀状遺構土層（矢印が酸化鉄）

松山遺跡第 99 地点堀状遺構全景（西より）



松山遺跡第 99 地点堀状遺構作業風景と底面掘方



松山遺跡第 99 地点堀状遺構底面ピット



松山遺跡第 99 地点堀状遺構ベルト土層サンプリング風景



松山遺跡第 99 地点出土遺物